

授業科目名 (英文名)	戦略経営論 (経営学部・専門科目) (Strategic Management)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	當間 克雄	所属	政策科学研究所
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	企業を取り巻く環境の変化が非常に激しくなるなかで、企業が成長・存続するために、その事業活動の範囲と今後進むべき方向性を明確にし、組織成員の関心や行動を方向づけることが重要な課題となっている。この方向性を決めていくことが、戦略経営に他ならない。本講義では「戦略経営」という概念を中核において、経営戦略研究に関する理論と実際を学習していくことを目的とする。講義の中では実際の企業のケースを使用するため、受講生は、実際の企業行動を分析する能力を習得することができる。		
講義内容・授業計画	<p>授業計画は下記のとおりである。なお、詳細については、第1回目の講義にスケジュール表を配布する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営戦略とは何か (1 ~ 2) 2. 商品の価値と市場細分化戦略 (3 ~ 4) 3. 環境適応と環境適合 (5 ~ 6) 4. 企業におけるイノベーション活動 (7 ~ 8) 5. 新製品開発のプロセスのマネジメント (9 ~ 10) 6. 事業システムのイノベーション (11 ~ 12) 7. 競争優位の持続可能性 (市場ポジショニング視点) (13 ~ 14) 8. 産業の競争状況の分析 (5 要因モデルと戦略グループ) (15 ~ 16) 9. 競争優位獲得のための3つの競争戦略 (17 ~ 18) 10. デファクトスタンダードをめぐる競争 (19 ~ 20) 11. 競争優位の資源ベース視点 (21 ~ 22) 12. 持続的競争優位を獲得するための経営資源と組織能力 (23 ~ 24) 13. 垂直統合戦略とそのメリットとデメリット (25 ~ 26) 14. 多角化戦略と新事業開拓 (27 ~ 28) 15. 多角化戦略とPPM (29 ~ 30) 		
テキスト	講義の最初に紹介する。		
参考文献	講義の最初に紹介する。		
成績評価の基準・方法	単位の認定は、定期試験 (80%)、レポート (20%)、質問票の提出回数 (+)、以上3項目の総計で行う。なお、詳細については、第1回目の講義に説明する。		
履修上の注意・履修要件	本講義は、講義への出席と質問票の提出を重視している。したがって、講義へ出席しない学生は、当然のことであるが、試験を受ける資格を失う。		
実践的教育			
備考	関連科目として、経営戦略入門やイノベーション論、経営組織論、国際経営論、マーケティング戦略論などがある。		